

## 6 学 校 教 育

### 「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」 ～科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

本市は、長年農業と先端技術工業を産業の基盤として、いわゆる農・工一体型の地域社会として様々な叡智を編み出し駆使しながら発展してきた。また、自然・科学・文化・芸術等の分野に多くの優れた人材を輩出しており、学校教育においても、地域の教育資源や人材を積極的に活用し、感動ある学び・意欲的な学びの創造等を核に各種施策を進めてきている。

各校ではふるさと教育を基盤に学習指導要領の趣旨を生かし、特色ある教育課程を編成し、児童生徒一人一人は、具体的な目標実現を目指して主体的に学習に取り組んでいる。その成果として、粘り強く科学的に対象を見つめ、思考したり表現したりする活動を通して、科学分野や文芸等で全国的にも優れた賞を受賞している。

これらのことを踏まえ、今後も科学する心と力をはぐくむ教育を一層進めるとともに、科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育に努め、地域の期待に応えていきたい。

#### 1 人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成

本市の目指す教育の将来像は、市の総合発展計画より「共生・躍動・自立」という視点で進めてきている。特に、各地域の特色を生かした体験活動や道徳及び特別活動の指導を通して、人や自然を敬い感謝する心をはぐくまれるとともに、先人の業績や地域の文化に触れるふるさと教育を通して、学習に広がりや深みが増してきている。

また、学習指導要領で重視される言語活動の充実や、活用する力を伸ばす調べ学習やふるさと教育・キャリア教育、読書活動、外国語活動等を通じて、興味関心をもって学び続ける力も身に付けてきている。

今後、自ら学ぶ力を発揮した家庭学習を充実させることや言語活動をより充実させることに取り組むとともに、体験したことを表現し伝え合い、考察する活動を推進し、読解力等の生きてはたらく力を培っていきたい。将来は、ふるさとの恵まれた環境を生かして物事に積極的に取り組み、文化を新しく創造していく子ども、人と豊かにコミュニケーションできる子ども等、心身共にたくましい子どもの育成を図っていきたい。

#### 2 科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育の推進

各校では豊かな自然や先人の業績に「触れ、学び、活かす」という機会を持ちながら多様な学習活動を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を目指してきた。市では、科学フェスティバル、理科支援員等派遣事業やホット・ヒート科学の心推進事業等、地域の人材や高校、大学などの教育機関、企業等との連携を通して人的支援を図り、ものづくりの伝統を発展的に構築しながら、知的好奇心を喚起し探究的な活動を行うことができるようにしてきている。このように、学校を取り巻く学びの支援ネットワークが構築され、多様な学習活動が各校で充実してきている。

さらに、全国調査等各種アンケートの分析・検証と、日々の授業研究とをリンクさせた授業改善の取り組みにより、子どもたちの学びの質も確実に向上してきている。

このことは、課題を求め追究する姿勢を高め、英語や漢字等の各種検定への参加者の増加、思考コンテストへの挑戦、日本学生科学賞の連続受賞など、自らに問い続け、目標を立てて学び・成長し続ける子どもや学校の増加に表れている。

今後、自分の能力を最大限に発揮して自己実現を図る学びを「挑戦する学び」として、さらに教育支援ネットワークの活用を図りながら継続して推進し、個性豊かで主体的に学習に取り組む子どもを一層育てていきたい。

また、人との「コミュニケーション」のあり方や自分をかけがえのない存在とする「自己肯定感」のもたせ方、「自己表現」の仕方などを基盤にして、学習指導要領の趣旨を生かし、科学的な見方や考え方ができる児童生徒の育成、確かな学力を身に付け、自信をもって表現できる児童生徒の育成を図っていきたい。

### 3 由利本荘市の人間性豊かな子ども像

- 自然や地域文化を愛し、他人を思いやり奉仕する、心豊かな子ども
- いのちの尊厳や万物共生の精神を理解し、たくましく生きる子ども
- 目標をもち、自信と誇りをもって科学的に探究しながら、学び続ける子ども

### 4 学校教育の重点施策

#### 開かれた学校づくり ～地域連携の強化～

【学習指導】－【生徒指導】

(PTA活動)

#### 【主な推進施策とその内容】

○学校開放及び学校評価等の活用による「地域の学校づくり」

- ①目指す学校像実現のための学校活性化アンケート等の実施
- ②「あきた型学校評価」の活用により、経営の改善
  - ・ふるさと教育とキャリア教育
- ③学校関係者評価委員並びに学校評議員による助言等をもとに、地域の教育力を活用した学校運営

○ふるさと教育と芸術・文化活動の推進

- ①学校支援地域本部事業、コミュニティスクールの推進
- ②芸術・音楽活動の充実、伝統文化・芸能活動の継承と発展

○教育課程の計画的な実施(新学習指導要領完全実施)

- ①言語活動の充実 ②理数教育の充実 ③小学校外国語活動の推進

○「ホットヒート！科学の心推進事業」と学校の活性化，授業改善の推進

- ①OB教員や大学教員，地域人材等の活用 ②科学フェスティバルの開催
- ③中学生アカデミーの開催 ④中学生会議の開催

○トライアングルプラン（学校，公立図書館，市教育研究所が連携）の推進

- ①学校図書館の活用を図り，調査・探求する総合的な時間等，調べ学習の一層の充実

○学力対策委員会による学力向上の推進

- ①全国調査等の採点及び結果の分析・検証及び課題の解決

○地域ブロックでの特色ある取組の推進

- ①広域3ブロック体制による授業実践研究会により指導力の向上
- ②高校・大学との連携強化を図り，発展的な学習や地域奉仕活動等の充実

### (1) 確かな学力の形成

本市の学力の現状は、全国調査や県学習状況調査によると、小・中学校の平均正答率は共に県平均を若干上回る結果を得ており、基礎的・基本的な内容の定着は達成されている。しかし、「条件に応じて文章を要約する力」や「図形や数量関係の領域における活用する力」についてはまだ十分なものとは言えず、小・中学校とも指導の改善を要する。

今後、問いのある教育を基盤にした授業改善や指導力の向上を通して、一人一人の個性や特性を十分把握し、基礎・基本の確実な定着を基盤に、思考力、判断力、表現力を高める指導を心がけ、自信をもって粘り強く学び続ける子どもの育成を図りたい。

- ◇ 授業改善プログラムの推進（ホットヒート！科学の心推進事業）
- ◇ ブロック別授業実践研究会の開催  
 (小学校：東プ 11月16日, 南プ 11月22日, 北プ 10月26日)  
 (中学校：東プ 10月26日, 南プ 11月22日, 北プ 11月9日)
- ◇ 授業力向上訪問（国語，算数・数学，理科）の実施
- ◇ 学力対策委員会等による指導力向上研修会の実施

重点事項	達成目標
① 基礎・基本の確実な定着 ・学習のねらいを明確にした指導 ・言語活動の充実をおとした授業改善 ② 個に応じた指導・支援 ・学力上位層への支援 ・目的に応じた多様な学習形態等による指導の工夫 ③ 図書館の活用 ・授業における学校図書館の活用の拡大 ・学校図書館と公立図書館との連携	<input type="checkbox"/> 全国や県の調査で、各教科とも県平均を上回る。 <input type="checkbox"/> 各学校における「学習に関するアンケート（児童生徒，教師）」において、昨年の結果を上回る。 <input type="checkbox"/> 各教科・学級等で図書館を活用した授業を複数回実施する。

- 特色ある具体的な取り組み  
 ・教育専門監の配置（算数・数学，理科）  
 ・中学生アカデミーの実施（個性ある学びの伸張）  
 ・トライアングルプランの拡充（学校図書館と公立図書館の連携）  
 ・科学フェスティバルの実施

### (2) 豊かな心と感性の醸成

新学習指導要領の実施に伴い、道徳の時間は、各教科をはじめとする全領域との関連を図りながら、計画的・発展的な指導の充実が図られてきている。今後、ふるさと教育のさらなる充実を通して、地域の良さや地域の一員としての再認識を深める教育活動を展開していく。

- ◇ 道徳教育の各教科等の指導計画への位置付け
- ◇ 読書活動の充実（朝の読書活動，読み聞かせ活動等）
- ◇ ボランティア活動の推進
- ◇ ふるさと教育・キャリア教育の充実

重点事項	達成目標
① 自校の実態を踏まえた道徳教育 ・教育活動相互の関連を明確にした道徳教育の実践 ・豊かな体験等を通じた道徳教育の充実 ② 自己実現を目指すキャリア教育 ・子ども一人の社会的自立を踏まえた生き方指導の充実 ・学ぶことや働くことの意義を実感できる指導の充実	<input type="checkbox"/> 各校の道徳教育の指導方針や重点とする価値項目等を明確にした指導展開の具現化を図る。 <input type="checkbox"/> 教育活動全体を通じて、職場体験等の体験活動の充実を図る。

- 特色ある具体的な取り組み  
 ・中学生会議 ・芸術鑑賞教室 ・劇団四季ミュージカル鑑賞  
 ・職場体験学習を核としたキャリア教育

### (3) 情報活用能力，コミュニケーション能力の育成

子どもたちの情報の利活用に関する指導を、図書館やコンピュータールーム等の施設活用を図りながら推進する。また、関係機関と連携して、情報化社会に必須な情報モラル教育を徹底する。

- ◇ C A T Vの教育的利活用（教育番組等の編成及び活用）
- ◇ 情報モラル教育の推進（警察署や携帯電話会社等の外部機関との連携）

重点事項	達成目標
① 情報機器等の効果的な活用 ・情報モラル教育の充実 ・教科等における電子黒板の活用	□各教科・領域等において、情報の適切な活用能力と共に、主体性や創造性を高める指導の充実を図る。

- 特色ある具体的な取り組み  
・学習情報センターづくり支援事業（学校図書支援員配置）

#### (4) 健康でたくましい心と体の育成

平成23年度の全国調査によると、本市の子どもたちの体格や運動能力は全国平均を上回っている。しかし、内容によっては県平均より下回る種目等もあり、特に、柔軟性や走力等については引き続き継続的な指導を行い、改善を図っていきたい。不登校児童生徒数は、各学校でのきめ細やかな指導や支援の充実から徐々に減少してきているが、不登校に陥る理由が多岐にわたり複雑化してきていることから、一層関係

- ◇ 校内相談活動の充実
- ◇ 食の指導の充実
- ◇ 基礎体力向上への取り組み（体育学習の活性化、朝・業間活動の奨励）

重点事項	達成目標
① 児童生徒の体力及び運動能力の向上 ・体力つくりのための創意工夫ある実践 ・運動能力向上のための指導方法の工夫改善	□全国体力調査、新体力テスト等で低調な項目（50m走、シャトルラン等）の向上を図る。
② 自己肯定感を育む ・生徒指導の3機能を生かした指導の充実 ・道徳教育やキャリア教育との連携による指導の充実	□自治的・自発的な児童の活動や積極的な生徒指導等の充実を図る。
③ 不登校の未然防止 ・児童生徒についての情報共有と小・中教員の相互理解による指導の充実 ・保護者との連携やスクールカウンセラー等との連携による指導の充実	□不登校児童生徒の出現予防と減少を図る。

- 特色ある具体的な取り組み  
・心の教室相談員配置事業（中学校2校）  
・適応指導教室の設置（本荘ふれあい教室）  
・スクールカウンセラー配置事業（中学校9校）

#### (5) 多様な児童生徒理解と支援の充実

特別支援教育については、県教育委員会、ゆり養護学校との連携を重視し、個別の指導計画等の作成を通して子どもたちへの支援を充実してきている。今後、幼保・小・中学校間での相談活動等、適切な支援を受けることができるような体制の整備を図っていく。

重点事項	達成目標
① 児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な支援 ・個別の指導計画と教育支援計画の作成 ・関係機関との連携及び地域ぐるみの支援体制の充実	□一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた指導の充実を図る。

- 特色ある具体的な取り組み  
・特別支援教育地域支援センター（鶴舞小）、相談ルーム（矢島小）  
・学校生活サポート事業（特別支援教育支援…23校、日本語支援…5校）

#### <その他の教育活動事業等>

- ・コミュニティ・スクールの推進（矢島小）
- ・学校支援地域本部事業「ボランティア活用」（出羽中、矢島小、直根小、岩谷小、下川大内小）
- ・学習評価に関する調査研究「中学校の定期テストに関する調査」（全中学校）
- ・英語力を強化する指導改善の取組（本荘南中 \*協力校：本荘北中、本荘東中）
- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究（西目中、西目小）
- ・小・中連携いきいきスクール事業（石沢小 \*協力校：本荘東中）